

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第86号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年6月16日 01時00分ごろ	
発生場所	鹿児島県阿久根港西方沖 (概位 北緯32°02.8′ 東経129°55.9′ (日本測地系))	
事故等調査の経過	平成21年6月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	<p>A 引船 <sup>あかさき</sup>赤崎丸、195トン 140823、佐世保重工業株式会社、佐世保マリン・アンド・ポートサービス株式会社</p> <p>B フローティングドック 宏洋12000、全長64m なし、家島建設株式会社</p> <p>C 漁船 <sup>ふくしん</sup>福伸丸、9.7トン KG2-3068（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、四級海技士（航海）</p> <p>A 二等航海士、五級海技士（航海）</p> <p>C 船長、一級小型船舶操縦士</p> <p>C 乗組員、一級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A なし</p> <p>B 左舷後方に擦過傷</p> <p>C 左舷船首外板に破口を伴う凹損及びき裂</p>	
事故等の経過	<p>A船は、5人が乗り組み、無人のB船を引航してA船引船列を構成し、A船には法定灯火を、B船には船尾灯、白色全周灯2個のほか片舷に各7個の白色点滅灯を点灯のうえ、えい航索の長さを約200mとして、二等航海士Aが当直にあたって、約4.5ノット（kn）の速力で、C船に気付かずに南進中、C船は、4人が乗り組み、法定灯火を点灯し、乗組員Cが当直にあたって、約11.5knの速力で、B船に気付かず西進中、平成21年6月16日01時00分ごろ、鹿児島県阿久根港西方沖において、C船の左舷船首とB船の左舷後方とが衝突した。</p> <p>事故後、A船引船列はそのまま航行を続け、C船は自力で阿久根港に帰港した。</p>	
気象・海象	気象：天気 曇り、風 ほとんどなし、視程 約8～9km	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船引船列は、C船に気付かずに航行していたと考えられる。 当直中の二等航海士Aは、付近に数隻の漁船を認</p>

	<p>めて、A船のサーチライトでB船を照射して視認しやすくしたので大丈夫と判断し、適切な見張りを行っていなかった可能性があると考えられる。</p> <p>C船は、A船引船列の存在に気付かずに航行したものと考えられる。</p> <p>当直中の乗組員Cは、先行する僚船に追従することに気を取られ、適切な見張りを行っていなかった可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、鹿児島県阿久根港西方沖において、A船引船列が南進中、C船が西進中、A船引船列がC船に気付かずに航行し、また、C船がA船引船列に気付かずに航行したため、A船引船列のB船とC船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>